

令和５年度第１回 徳島県スポーツ推進審議会 議事録

I 日 時

令和５年８月２２日（火） 午後３時から午後４時まで

II 場 所

徳島県庁１０階 大会議室

III 出席者

【委 員】２０名中１１名出席

佐藤充宏副会長、岡部裕子委員（リモート）、佐伯美千代委員、
土岡美紀委員、鶴真美委員（リモート）、富山潤一委員（リモート）、
永原レキ委員（リモート）、村上亜弥子委員（リモート）、
山口鉄夫委員（リモート）、吉野誠委員、米本元子委員

【事務局】未来創生文化部次長、スポーツ振興課長、ダイバーシティ推進課長
体育健康安全課長、西部総合県民局地域創生観光部課長ほか

IV 内 容

開会

議事

- （１）令和５年度スポーツ関連施策の状況について
- （２）徳島県スポーツ推進計画の進捗状況について
- （３）その他

閉会

＜配付資料＞

- | | |
|------------------------------|-----|
| ○ 令和５年度スポーツ関連施策について | 資料１ |
| ○ 徳島県スポーツ推進計画の進捗状況等について | 資料２ |
| ○ 徳島県スポーツコミッションの新たな取り組みについて | 資料３ |
| ○ ワールドマスターズゲームズ２０２７関西 | 参考１ |
| ○ 第７７回全国レクリエーション大会２０２３inとくしま | 参考２ |
| ○ とくしまパラスポーツ人材バンク | 参考３ |

V 議事録

開会

☆副会長

まず事務局より議事（１）令和５年度スポーツ関連施策の状況について、議事（２）徳島県スポーツ推進計画の進捗状況について、併せて説明お願いいたします。

◆事務局

資料１、２に基づき説明

☆副会長

ありがとうございました。ただいま事務局より説明がありました。このことにつきまして、御質問とか御意見をお聞きしたいと思います。

それではちょっと私の方から一点、せっかくですのでお伺いしたいと思います。特に総合型クラブのことについてなんですけれども、登録認証が始まってそれぞれ組織化が展開されていると思うんですが、特に、クラブマネジャーですね。アシスタントクラブマネジャーの養成というのは、非常に重要だと思うんですけど、今の現状と課題のあたり、どのような形になっていますでしょうか。よろしくお願いします。

◆事務局

総合型クラブにおけるクラブマネジャーの現状としましては、基本各クラブに１名又は２名、クラブマネジャーが配置されていまして、そのクラブマネジャーを中心にスポーツ教室や、イベント等の実施を行っております。さらに、資格を取得したクラブマネジャーの養成・配置におきましては、県のスポーツ協会に委託しております事業の中で、資格養成講習会を開催して、さらにそういう資格を取得したクラブマネジャーの養成・育成に努めているところでございます。以上です。

☆副会長

ありがとうございます。初期といいますか、立ち上げの段階でマネジャーを取られた方もだんだん年齢が上がってきているという状況ですので、特に次の世代ですよ。引継ぎといいますか、若手のマネジャーさんの養成に力を入れていただきたいと思います。ありがとうございました。

それでは他に何か御意見・御質問等ございましたら頂戴したいと思いますのですが、いかがでしょうか。

○委員

私のほうで少し気になった点といえば、まずハード面のことです。スポーツで人とまちをつなぐ「ふれあいとくしま」の推進という部分で、この11月から鳴門総合運動公園のオロナミンC球場の全面的な改修工事が始まると思うのですが、この改修工事が始まったことによって、大部分の大きな大会が鳴門・大塚スポーツパークのオロナミンC球場で開催されていたこともあり、利用団体とか開催数は変わらないと思うので、来期からは、他球場とか、ほかの施設を利用することによるフォローというか、鳴門・大塚スポーツパークのオロナミンC球場が使えないことに対する何か、施策は考えられているのですか。実際に現時点でも鳴門・大塚スポーツパークのオロナミンC球場とむつみスタジアム、あとJAアグリあなんスタジアム、硬式で試合ができるのがその3会場、プラスアルファ三好の池田球場であるとか、海陽町の蛇王球場も使えるのですが、そこはナイター設備がなく、ナイターができないという現状です。その5球場で試合を行っていて、現状でもインディゴソックスはなんとかナイター開催することで他団体とのバランスをとって試合を開催しております。ただ、私たちは比較的ナイターを使わせていただくことにより試合の消化ができておりますが、日中はただでさえ球場が足りていない状況なので、その辺の部分の混乱は大丈夫なのかなと。あと、実際にオロナミンC球場の全面改修が終わった後に、今の規模のオロナミンC球場でも、ヴォルティスさんとインディゴソックスの試合時間が重なった場合とか、大きな全中の大会の時に、全く駐車場が足りないとか、照度の問題とかも出てきているので、改修工事が終わって利用が始まった時に、そういった部分の問題はどういうふうに進めていくのかというのを同時進行で考えられているのかなというのが少し心配だなと思っております。

☆副会長

はい、ありがとうございました。オロナミンC球場の改修ということで、施設利用の対応と、それから駐車場の対応についてなんですけど、いかがでしょうか。

◆事務局（スポーツ振興課長）

先ほど御質問いただいた内容にお答えします。オロナミンC球場です。改築を進めていくということで、キャパの問題というか、他の施設の利用をどう図っていくかということですが、一つは御承知のとおり、むつみスタジアムについては防球ネットの整備であるとか、バックネットの張り替えであるとか、両翼の拡張工事により100m広げた。そういった形で、まずむつみ、蔵本の方ですけど、令和3年度に改修工事を行わせていただいたところで、オロナミンC球場が使えない場合でも、むつみスタジアムを改修したことによって、ある程度使いやすい施設にはなったかなと思っています。もちろん、オロナミ

ンC球場を改築後、もともと硬式野球場が少ないという部分は、我々認識しておりますので、そのあたりの対策というのは、すぐにはなかなかできない部分もあると思うんですけれども、今後の課題として考えていきたいと思っています。もう一点、駐車場の問題です。こちらの方も、従来から、大きな大会であるとか、陸上と野球とサッカーが同時に行われるような場合については、非常に駐車場がないというのも課題としてある、というのは承知しております。こちらの方も、将来を見据えてしっかり対策を取れるように、検討して行きたいと考えております。

○委員

ありがとうございました。今の最後の駐車場の件も、鳴門を使う時には近隣に御協力いただいて、駐車場をお借りしたりとか、蔵本を使うときにも同様に近隣に御協力いただいたりすることがあるのですが、そこもいろいろ利用者のマナーの問題とかもあり、御迷惑をおかけして御負担をおかけしているところもあります。利用促進とか、にぎわい創出もそうなんですけど、それプラスアルファ県としても近隣の人に迷惑のかからないように、いち早くそこは考えてもらいたいなという部分はあります。

あと、むつみスタジアムを使うにあたって、私たちは今のところナイターを使うので、日中のアマチュアの大会を4時までに終わらせていただければ、そこからナイターの設置をして試合を始めるというような形にバランスをとってコミュニケーションをとって進めているのですが、やはりいろいろ条例の問題とか騒音問題とかあって、朝は何時からじゃないと使ってはいけない、夜はむつみスタジアムの方が住宅街になりますので、何時までで鳴り物は禁止、何時までの試合終了、照明も何時までという、おそらく決まりがあるんです。これは条例でだめです、条例でだめですって施設管理側から言われることが結構あるんですけれども、その辺の条例も私ちょっと勉強不足であまり詳しくわかってないんですが、改定できる部分とか、それはもう改定できない部分とか、条例変えるのはそんなに簡単じゃ無いからっていつも言われるんですけど、利用団体を減らさずに施設が減ると、使う時間も長くなるし、その辺もちょっと、今すぐじゃなくていいので、またいろいろ御相談できて教えていただけたらなと思います。

◆事務局（スポーツ振興課長）

利用時間については、条例で決まっているというのはそのとおりでございます。あと準備であつたりとか、試合の時間帯によっては前後するというか、延長したりとか、早めに施設を開けたりとかいうことで、柔軟に対応させていただいているところなんですけれども、また具体的な課題であるとか、こうしてほしいというような要望がございましたら検討させていただきますので、引き続きよろしく申し上げます。

○委員

もう一つだけ。むつみスタジアムの入場口正面玄関の前で阿波おどりとスケボーがいつも混在してて、混じり合って、いつ事故になってもおかしくないような環境でお互い練習されたりしてるんですけど、あれはなんか危険じゃないのかなと思って。双方、公園の利用者として主張したい部分もあるんだと思うんですけど、スケボーの人がそこでして悪い事もなければ阿波おどりがして悪いこともないと思うんですけど、あの辺は事故が起きてからじゃ遅いんじゃないかなと思って。野球場の使用の問題とは別なんですけど、公園の利用として気になっているところです。以上です。

◆事務局（都市計画課課長補佐）

先ほど阿波おどりのこととか、スケートボードの意見がございましたので、阿波おどりの方はちょっと今そういう実情があると、スケートボードの方もそういう実情があるというのは聞いておりますので、阿波おどりの方は今対応を考えているところです。スケートボードにつきましては、むつみのほうについては、使用はしてはいけないと指導しております。ただ、今、実態としてそういう状況があるというのは聞いておりますので、球場のどこか目立つところに、スケートボード禁止の看板を設置するということで、調整しておりますので、それだけ御報告させていただきます。以上です。

○委員

私の方も、ただスケートボードを無理やり辞めさせたいというのではなく、オリンピックの競技とかになったりして、若者が興味を持っている競技なので、ああいうところでもできるような施設ができればいいな、スペースができればいいなって言う部分はあります。無理やり、迷惑をしてとかいうわけではないんですけど。ありがとうございます。

☆副会長

はい、ありがとうございました。他に何か御意見、御質問。

○委員

施設面のことは先ほど出たんですが、この夏に小学校の方でも県の小学校水泳検定会が蔵本のむつみスイミングプールで実施され、屋根が付き、大変快適に検定会ができたという話を聞いております。そういう良い面もあれば、熱中症対策という点で気になる面もあります。これだけ暑い中で、色んなスポーツが学校等の授業で実施されています。県としてはどのような対策を考え、実施されているのかということをお聞きしたいと思っていました。女子体育連盟では8月10日に四国大学さんのスポーツ棟をお借りして、クーラーの

効いているところで教職員がダンスの講習会を行いました。それが50名ほどの参加者でしたが、快適な中で安全に実施することができました。クーラーが効いていないところや、熱中症対策が十分でないところで運動をするのは、子どもたちが大変危険な状態になっていると思います。今現在、どのような対策が取られているのでしょうか。

◆事務局（体育健康安全課長）

今のお話の中で、熱中症のことなんですけれども、近年、気候変動によりスポーツの活動が熱中症で多くの被害等もあるように思われます。特に、7月28日には他県で中学生が熱中症と見られる症状で死亡したということがありまして、本県におきましても、学校教育における熱中症事故防止が求められているところではあると思います。県の教育委員会といたしましては、本年度5月15日に小中高特別支援学校に熱中症の講習会を開催いたしました。また、市町村教育委員会や県立学校に対しても文書発出を5度ほどさせていただいております。最近では、7月28日の事故後、8月2日に事件事故情報の共有、注意喚起ということで、通知文を出させていただいたり、また県立校長会の方でも、熱中症に対する予防の徹底をお願いしているところです。今後の対策といたしましては、熱中症アラートや暑さ指数（WBGT）等で計測をして、生徒たちが守られた環境の中でできるよう、今後、このWBGTの計測の機械が学校にどのくらいあるのかを調査いたしまして、それにあわせて、対策を考えようと思っています。今週、来週から学校が始まりますので、早急に対応したいと考えております。以上でございます。

☆副会長

いかがでしょうか。よろしいですか。はい、ありがとうございます。他に何かありませんでしょうか。

○委員

資料2のスポーツ推進計画の施策目標一覧の16ページと19ページの2点お伺いします。まず、16ページの成人の週1回以上のスポーツ実施率、令和4年度進捗状況70%となっているんですが、個人的な印象で話を進めて申し訳ないんですけれども、70%って私の周囲を見渡しても、結構高い数字のように感じられるんですけれども、これってどういう方を対象に調査をされているのかなっていうのを一点お聞きしたいのと、19ページのウォーキングイベントの参加者数の進捗状況なんですけど、令和3年度から4年度の伸び率がすごいなあって感じるんですけれども、これはウォーキング自体を始められた方が、こう純粹に伸びているのか、あるいはこうコロナの制約がいろいろ解けてきて、イベント数がすごく多くなったので、参加者の延べ数が増えてるということが影響しているのか、教えていただきたいです。

◆事務局（スポーツ振興課長）

私の方からはスポーツ実施率についてお答えします。令和４年の結果が70%ということ
で、非常に高いのではないのでしょうかということですが、こちらは、徳島県のeモニ
ターという、県民の方へのアンケートと言いますか、それを通じて出している数字でござ
います。全国で言うと令和４年52.3%という数字がありますので、それに比べると、本県の
数字は非常に高い状況であるわけですが、そういうふうな調査の手法で、出してい
るところでございます。以上です。

◆事務局

ウォーキングイベントについてなんですけれども、直接の担当課はいませんが、伝えさせ
ていただきます。今回、特に伸びている分につきまして確認したところ、４年度の新たな
取組といたしまして、テクとくの関連事業の方が特に実施されたということで、「テクとく
なぞときツアー」というのが４年度特に取組されまして、イベントの参加者がかなり多か
ったようで、他年度に比べて人数が増えております。以上です。

○委員

はい、ありがとうございます。謎解きイベントに関してはすごく人気があって、こう時流
にも乗ってて良いイベントだったということなんですかね。ありがとうございます。大丈
夫です。

☆副会長

はい、ありがとうございました。それでは、まだ御意見等ございますかね。すみませんが、
進行の都合もありますので「その他」の方を先にさせていただいて、その後ですね、また
お受けいたしますので、それでは議事の３のほうに移らせていただきます。議事（３）「そ
の他」よろしくお願いいたします。

◆事務局

資料３、参考１～３に基づき説明

☆副会長

はい、ありがとうございました。それでは、その他の御報告の内容、あるいは先ほどの議
事１・２の内容でも結構ですので、何か御意見などございましたら御発言をお願いしたい
と思います。よろしくお願いします。

○委員

先ほど委員からありました駐車場のことなんですけれども、将来的に徳島県さんの方が鳴門市さんとどっかに作ろうと考えているわけです、多分、具体的には進んでないと思うんですけれども。基本的にヴォルティスがJ1の時に、免許センターの前の駐車場を大塚製薬がもっておるんですけれども、そこからシャトルバスを出されて、要するに駐車場ですね、サポーターの方の集客に影響が出ないように、そういうシャトルバスを動かした。当然、J1の時なので、いろいろ経費的なこともあったんだと思うんです。インディゴさんとヴォルティスと、例えば陸上競技が重なる日が年間どれぐらいあるのかわからないですけれども、多分ですね無料で車が停めれるような、他府県ですけれども、そういうのって結構少ないと思うんです。たまたま弊社グループ会社の社員の駐車場が土曜日とか日曜日とかにお休み、社員がいないので御利用ただけてるっていうだけの話であって、基本的にはそもそも駐車場が無いというのが現状だと。

それで例えばですけれども、今のところ松茂の空港前のところは何に使うという計画は立てておりません。例えば当面、シャトルバスというか、そもそも駐車場代を出して観戦をするというところで、駐車場代が要らないので、例えばバス代をいただくとか。そういうふうなのをヴォルティスもそうですけども、ヴォルティスの場合はグループ会社の駐車場を使ってるって言うような考えがあると思うんですけれども、やっぱり鳴門・大塚スポーツパークに来られるそれぞれのサポーターへの、逆にこちらからのサポートだと思いますので、それは徳島県さんなのか鳴門市さんなのかヴォルティスなのかインディゴさんなのか、そこで上手く話し合いをして、有料制のバスを出して、当然タダでシャトルバスというところを経費負担するのかということになり、多分前に進まないと思いますから、そういうふうにちょっと話し合いをされて、お使いいただくんだったら、松茂の駐車場を貸しますので、そういうふうなところで進めていかないと、「考えています」「いずれどっかスペースできます」って多分難しいと思うんですね。やっぱり新しく球場ができたり、ヴォルティスもいずれJ1に行くと思いますから、そうなってくるとどんどんスタジアムに来られる方って増えると思います。そういうところは今のうちに何か対策を具体的に考えられている方が、考えていますっていうのもわかるんですけど、それをされる方が我々も今のところ協力できますので、ぜひ。

それと熱中症のことをおっしゃってたと思うんですけど、以前ですね、コロナ前ですけれども、大塚製薬のCG業務で、そのメンバーも含めて、学校の校長会を訪問させていただきました。特に小学校中学校の指導者の方だけに熱中症をどうのこうのって、ただ水飲めばいいわけではないので、適切な指導というのは。我々ポカリスエットなりを販売させていただく上で、やはりエビデンスをしっかりと出して御理解をいただいた上でないと、やれ飲め、要はこれ飲んだら予防になりますではなくて、教育者の方もしっかり理解をした上で、その対策をしないとダメだと思います。コロナも今のところは5類になって少しガー

ドがゆるいからです。こういう時を利用して、またぜひ我々の営業のほうに要請を頂いて、それで熱中症の予防に関しての色々サポートを一緒にさせて頂いていただければなと思います。以上です。

◆事務局（スポーツ振興課長）

委員の方から駐車場のことについて御提言いただきましたので、また各課情報共有致しまして、検討していきたいと思っています。ありがとうございます。

☆副会長

はい。それでは他に何か御意見、御質問ございますでしょうか。

○委員

11ページのスポーツ推進計画の地域移行についてですが、学校の部活動の継続が難しいということで、今地域に御協力いただきながら準備や実施をしていると思います。例えば、それがすごくうまくいっている地域等、紹介できるものがあれば、教えていただけたらと思います。新聞やニュース等の報道でもよく聞きますし、実際、中学や高校の先生方と関わっていく中で、大変部活動の負担が大きいと感じています。土日、祝祭日と指導し、本当に休みのない先生方がたくさんいる中で、地域への移行という点で、県の方でどのように進めているのかと思いました。教えてください。

◆事務局（体育健康安全課長）

今、地域移行が進んでいる好事例はどこがあるのかという御質問だったと思いますが、今のところ、令和5年度の第1回徳島県の部活動地域移行推進会議を行いまして、報告をいくつか市町村からもいただいているんですけども、今のところは佐那河内村の事例が一番参考になるかなと、好事例かなと思っておりませんが、具体的に今資料がありませんので、後ほどまた御説明させていただこうかと思うんですが、そういうような状況でございます。以上です。

☆副会長

ありがとうございました。

閉会